令和8年度第三回
区長定例記者会見



令和8年11月19日

葛飾区

カワセミの個体数調査12月6日に実施

令和8年度第三次補正予算案

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額	補正額 B の財源内訳	
	A	B	C（A＋B）	特定財源	一般財源
一般会計	297,736,182	▲9,738,808	287,997,374	▲9,525,175	▲213,633
合　計	297,736,182	▲9,738,808	287,997,374	▲9,525,175	▲213,633

（単位）千円

【補正額が減額の主要な要素】

よつぎ小学校・四ツ木中学校及び東四つ木小学校・中川中学校改築工事の入札不落などによる工事費の減額補正（▲約104億）

【今後の対応策及びスケジュール】

入札不落後、事業者へのヒアリング等を踏まえ、再発注に向けて工事工程や仮設計画等を見直す必要があることから、修正設計を行い、令和9年度に改築工事の再発注を行う。

	当初竣工時期	変更後竣工時期
よつぎ小学校・四ツ木中学校	令和11年7月	令和12年度中
東四つ木小学校・中川中学校	令和11年10月	令和12年度中

目　次

■補正予算に関連するもの

✅大雨・内水氾濫への備えを強化します…P3

✅地域の銭湯を未来につなげるため　健康増進・交流促進等に資する大規模改修を支援…P4

■【特集１】葛飾区の銭湯…P5

■【特集２】実証実験から本運用へ！　AIで窓口対応をサポート…P6

■【特集３】葛飾区スタジアム構想事業の進捗…P7

■【特集４】葛飾中川かわまちづくりの進捗…P8

大雨・内水氾濫への備えを強化します

事業名	①水害対策強化 ②路面冠水監視カメラの設置
予算額	① 251万円（令和9年度 465万円） ② 231万円（令和9年度 256万円）

大雨による浸水被害に備え、地域の浸水リスクを知るためのハザードマップ作成と、道路の冠水状況を把握するためのカメラの整備を進めます。

① 東京都の新たな浸水想定を反映 新たな内水氾濫ハザードマップの作成

近年の気象災害を踏まえ、見直された想定最大雨量（1000年以上に１度の規模）

１時間総雨量	153㎜（参考：千葉豪雨115㎜）
24時間総雨量	690㎜（参考：千葉豪雨367㎜）

※参考値は千葉市中央区



ハザードマップで得られる情報

自宅や近隣の浸水リスクに加え、水害への備えや災害時の情報収集方法など、いざという時の行動を分かりやすく紹介！



区内のほぼ全域に浸水のおそれがあり、誰もが備える必要がある

保存しやすいA4サイズ（A2十字折り）で30万部作成！

出水期前の **令和9年5月 全戸配付予定**

② 迅速な初動対応や通行規制の判断 路面冠水監視カメラを新規設置

8月の豪雨で冠水したアンダーパスをカバー

2か所・計4台の設置

設置箇所



JR金町駅西側アンダーパス



JR金町駅東側アンダーパス

①危機管理課
②道路補修課

地域の銭湯を未来につなげるために
健康増進・交流促進等に資する大規模改修を支援します

事業名	公衆浴場改築費等助成
予算額	4,000万円

概要・注目

区では、公衆浴場の転廃業防止を図り、区民の利便性・健康増進の向上を目的として、公衆浴場の改築費等を助成しています。資材価格をはじめとする改修費の高騰を踏まえ、都の助成拡充に合わせて、銭湯の魅力を高める大規模改修に対する補助対象上限と補助限度額を引き上げます。

葛飾区

	これまで	見直し後
補助対象上限	8,000万円	1億6,000万円
補助率	1/4	1/4
補助限度額	2,000万円	4,000万円

東京都

	これまで	見直し後
補助対象上限	１億円	1億6,000万円
補助率	1/4	1/2または2/3（※）
補助限度額	2,500万円	8,000万円 または １億600万円

※補助率2/3の条件
・区独自の公衆浴場利用促進事業を行っていること
・区が公衆浴場の施設・設備の改修等に係る費用を補助していること

改修する浴場　富士の湯（亀有2-5-7）

集会会場スペース改修 / バリアフリー工事 / 耐震補強 / 健康増進設備の増設等（※）

改修費総額**2億円**越え

※炭酸風呂・電気風呂・ジェットバス・無料サウナ等

補助金　**1億4,600万円**
（区：4,000万円、都：1億600万円）

スケジュール
R8.7着工・休業開始　R9.3竣工予定　R9.4営業再開予定





過去実績（令和3年度）

金町湯（金町5-14-9）
令和3年9月リニューアル！
レトロとモダンが融合した銭湯。





商工振興課

【特集１】　♨葛飾区の銭湯♨

区内の銭湯
20軒

毎週土曜日・日曜日を
「銭湯家族の日」とし、
親子で銭湯を利用した場合、
小学生以下のお子さんの
入浴料が**無料**となります！





←葛飾区浴場組合キャラクター
「ゆ２（ゆーゆ）ほのか」ちゃん

高齢者の健康増進・地域交流を図るため、「くつろぎ入浴事業」を実施しており、区内在住の70歳以上の方は銭湯を半額の300円（通常600円）で利用できる「くつろぎ入浴証」を発行しています。さらに、銭湯は「入浴＋α」の地域拠点として体操やレクリエーションを楽しむ「ふれあい銭湯」など地域の身近な交流の場としても活用されています。





ほかにも銭湯のある地域をウォーキングし、歴史・文化を学び、最後に銭湯見学をして銭湯に入浴する銭湯ウォークなど、多くのイベントを定期的に行っています。

末広湯（宝町1-2-30）**が東京都選定歴史的建造物に認定！**

歴史的価値を持つ建造物を、まちの歴史を次世代へつなぐ貴重な景観資源として保存・活用する「東京都選定歴史的建造物」に、11月6日、末広湯が選定されました。



銭湯大使のステファニーコロインさんが語る！銭湯の魅力

日本銭湯文化協会公認の銭湯大使ステファニーコロインさんが銭湯の楽しみ方や、魅力について語ります。
12月５日（土）
午後1時～午後3時30分
栄湯（高砂8-15-12）

湯ったり寅さん～ぽかぽか旅～

映画『男はつらいよ』とコラボレーション！

区内銭湯に設置されたスタンプを集めると記念館で特典が受けられる企画や、限定グッズの販売、ワークショップなどを開催します。

11月21日（土）～12月20日（日）
寅さん記念館（葛飾区柴又6－22－19）



▲記念館オリジナル手ぬぐい



▲湯桶キーホルダー



©松竹株式会社

【特集２】 実証実験から本運用へ！ AIで窓口対応をサポート

概要

令和７年度に実証実験を行った「行政特化型AIエージェントシステム」（以下「AIエージェント」とする）について、令和８年10月23日から、子育て応援課で運用開始しました！

今回の導入ポイント！

AIエージェントの利用イメージ

①
対話を音声認識
会話をマイクで認識し、対話履歴として表示。

▶

②
質問を要約
対話履歴をもとに、AIが相談内容を整理・要約。

▶

③
回答案を補助
区の制度や業務マニュアル等から該当箇所を検索し、回答案と根拠文書を表示。

葛飾区の実証実験から、本運用へ

前年度～今年度９月 **AIエージェントの実証実験**
子育て応援課・戸籍住民課で、窓口業務での活用方法を検証

10月23日～ **子育て応援課で本運用開始**
ひとり親家庭相談、児童手当等申請の窓口で相談や問い合わせ業務に活用

導入のメリット

- ✓ 多岐にわたる相談でも、**制度やマニュアルを探して回答**を組み立てることで関連する制度や窓口を**速やかに確認**
- ✓ **区の情報を根拠文書とともに確認**し、**的確な案内**につなげる
- ✓ 会話の**文字起こし・要約**により、**相談記録の作成**を支援
- ✓ 相談者との**対話に集中しやすい環境**を確保



AIエージェントについて　DX戦略課
窓口の運用について　　子育て応援課

【特集３】葛飾区スタジアム構想事業の進捗「スタジアムのあるべき姿」を策定



▲現在の東新小岩運動場

これまでに実施した基礎調査や民間事業者等へのヒアリング結果を踏まえ、
大学教授等の有識者による「葛飾区スタジアム構想事業検討委員会」を設置し、
スタジアムの将来像や方向性、理念等からなる「スタジアムのあるべき姿」を策定しました。

葛飾区「らしい」スタジアムの４つのあり方

①国際コンテンツの発信拠点
『キャプテン翼』などのコンテンツ力を生かし、インバウンドを含む新たな来訪の流れを地域につなげます。

②産学官金連携による共創の拠点
区内のものづくり・伝統産業・大学等の資源を生かし、企業交流・共創による産業競争力強化の拠点とします。

③地域との共存拠点
スポーツを起点に、区民・企業・大学とともに地域課題の解決に取り組み、まちへの回遊を促し、にぎわいを創出します。

④トップレベルのスポーツの感動を届け、憧れを育む拠点
最高の競技環境と、選手と観客の距離が近い観戦環境を整え、憧れを次世代の目標につなげます。

＋

４つのあり方を補完する公共性を支える５つの要素

①都市公園とスタジアムの親和性

②防災拠点としてのスタジアム

③地域とスタジアムの共存

④スポーツを軸とした価値の提供

⑤スタジアムの公共性と経済性

検討の経緯と今後の想定スケジュール　今後は、引き続きこれを具体化した「スタジアム構想」についての取りまとめを行い、令和8年度末までの策定を目指します。

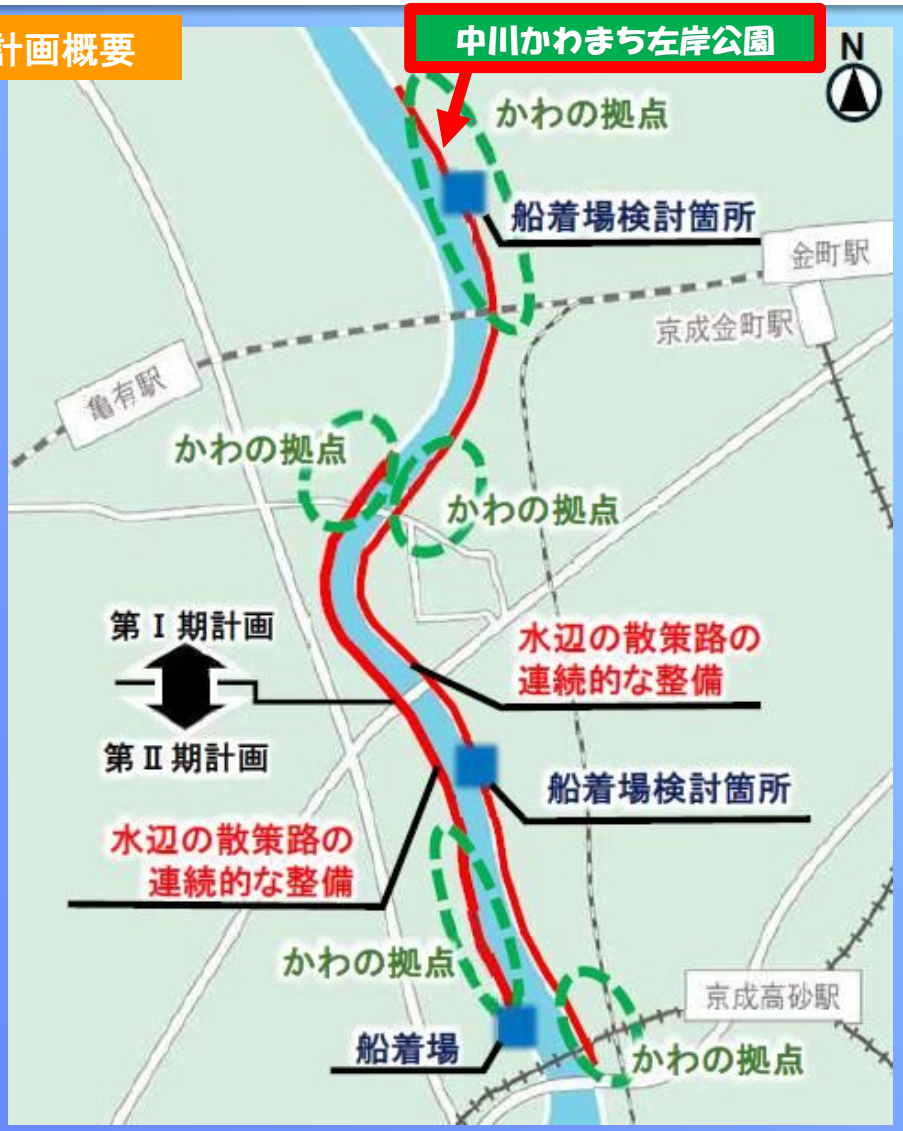
- R5.2 区と私学事業団が基本協定締結
- R6.3 区が総合運動場の土地を取得
- R8.6 検討委員会発足
- R8.10 「スタジアムのあるべき姿」を策定・住民説明会等を実施
- R9.3（予定） 「スタジアム構想」を策定
- R9.4以降（予定） 公募等を含む事業化に向けた検討

【特集４】 葛飾中川かわまちづくりの進捗

ここに注目

区は国と連携して「中川かわまちづくり」を推進しています。第1弾として、中川かわまち左岸公園（散策路約500m）の一部が開園しました。今後は国による下流側への散策路延伸と併せて、区は拠点整備を順次展開します。

計画概要



「葛飾中川かわまちづくり」とは？

『河川空間とまち空間が融合した、良好な空間形成を目指す取組』のことです。

葛飾区は、高砂橋から上流の国土交通省が管理する中川において、河川空間の賑わいの創出を図るため、国の「かわまちづくり支援制度」を活用しています。





国土交通省が河岸沿いに通路等の整備を行い、区はテラスとして利用を促進し、飲食等を楽しめるかわの拠点整備、災害時だけでなく、平常時にも活用できる船着場や河川・水辺空間までの動線整備等、**<u>かわを身近に感じることができる水辺空間の整備の検討</u>**を進めていきます。

「中川かわまちづくり」
紹介動画→

令和８年１０月１日開園

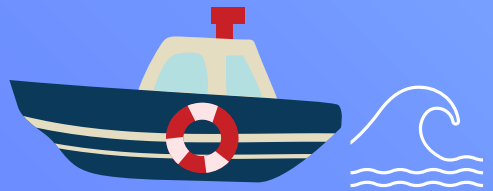
中川かわまち左岸公園



11/28にはイベントを開催します

中川を船から楽しむ

乗船体験も実施！





令和８年度のソフト施策の取組

河川空間の整備とあわせて、沿川地区の地域団体と協力してイベント等を開催し、中川に親しむ機会を創出しています！



亀有地区でのイベント
令和８年６月７日
来場者数：約1,300人



高砂地区でのイベント
令和８年５月24日
来場者数：約1,000人



新宿地区での
イルミネーション
令和８年６月１日～７日